

第21回御前崎市民公開講座について

今回の市民公開講座は、関節リウマチの治療をしていく上で、とても重要と思われる色々な職種「医師、看護師、作業療法士、医療ソーシャルワーカー（相談員）」が講師となり、お話をします。

例えば、最近のリウマチ治療の注射はとても高額で支払いが大変です。「健康保険や福祉関係で補助が受けられるのか？」また、「装具や手術時の補助がどうなっているか？」など、疑問はつきないと思います。このような疑問は、医療ソーシャルワーカー（相談員）に相談する事で解決できます。

また、自分でリウマチ薬を注射しなければならない時や、日常生活で困っている点などは看護師に相談できます。もちろん、医師に細々した事（悩み）を相談してもよいのですが、たぶん患者さんは看護師の方が相談しやすいと思います。

さらに作業療法士などのリハビリ技師には、日頃の日常生活で重要な関節の動かし方や、足に合った靴の作成、日常生活動作を支える装具なども作ってもらえます。

関節リウマチは、たくさんの関節機能が悪くなる病気ですので、少しでも関節機能を保ち、向上させることが大切です。

私は、関節リウマチ患者さんを診察し始めて36年目になります。正直なところ、リウマチ薬は急速に進歩しており、早い時期の患者さんなら治す事が出来るのではないかと考えています。しかし、リウマチという病気は幅が広く、軽い方から重症の方まで様々です。未だに治療に難渋する方も多くいらっしゃいます。また、せっかく良い薬が発売されても、患者さんの合併症のため使用できなかつたり、高価で使用できなかつたりもします。

現在、最も心にかかる事は、リウマチ患者さんが高齢化して、色々な合併症が出現し、リウマチ薬が使用できないことです。何とか、最も良い治療を個々のリウマチ患者さんに届けてあげたいと思っています。

今回は講演会終了後に、関節リウマチの治療、医療・福祉制度など皆様のご不明な点、疑問についてお答えする「大相談会」を開催しますので、是非、ご参加ください。お待ちしております。

市立御前崎総合病院
病院長 大橋 弘幸